

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕 事 の 内 容	街路樹等管理事業				
担当部署・課長名	土木	課	管理	係	課長名 寺島 由紀夫

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 5	-
【施策名】 緑の保全・創出	総合計画書 (ページ)	91	

予算名	款 8	土木費	項 2	道路橋りょう費	目 1	道路維持費	事業 5	街路樹等管理費
-----	-----	-----	-----	---------	-----	-------	------	---------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 A 街路樹(高木及び低木) B 市道等の沿線住民及び通行者	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) A 街路樹高木本数 街路樹低木面積
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] A 剪定等により管理を行い、交通の支障にならないようにする。 B 沿線住民及び通行者の憩いとなるような街路樹となるようにする。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 街路樹の剪定本数・面積 植樹帯等の除草
	③ そのために何をしましたか。 A ①街路樹等管理委託	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①高木剪定本数：3223本 ②低木剪定面積：20058㎡ ③低木剪定回数：1～2回(路線による) ④植樹帯等除草回数：2～3回(路線による)

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	本 ㎡	3,338 20,296	3,265 20,097	3,223 20,058	/
	成果指標	②の数値	%	100	100	100	/
	目 標	②の目標値					
			目標値設定の考え方				
	活動指標	③の数値	①3,338 ②20,296 ③2 ④43	①3,265 ②20,097 ③2 ④43	①3,223 ②20,058 ③2 ④43	/	/

3 経費	事業費(実績)		円	37,357,848	40,791,600	38,127,130	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	37,357,848	40,791,600	38,127,130	
		特定財源	円				
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900	2,473,200	
		職員人件費(再任用)	円				
		事業費+人件費	円	39,837,948	43,267,500	40,600,330	

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 ・開始時期は、街路樹等を植栽したときから。 ・街路樹等の適正な管理を目的として剪定を行っている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ・植樹から年月が経過したことにより街路樹が、高木化、老木化してきており、維持管理が年々大変になってきている。

仕 事 の 内 容	街路樹等管理事業			
担当部署・課長名	土木	課	管理	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹が大きくなっているため、根が舗装を持ち上げる等で通行しづらい、枝、根及び葉が家に影響を及ぼしている等の苦情。 ・街路樹剪定の時期が一定であるため、剪定の時期を臨機応変にしてもらいたい。特に夏場は日陰となるため、それを考慮してもらいたい等の剪定に関する苦情。 ・植樹帯や植樹ますは雑草が多く生え、除草してもすぐに新たな雑草が生えてしまう。 ・落葉のシーズンは月1回の清掃では対応できず、市職員等による清掃を高頻度で行っている。

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取組んだ	取組手法 ③事業協力（東大和高校 道路落葉清掃奉仕体験活動） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点	

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・老木化による更新を行うための予算の要望
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・市全体的に街路樹が高木化しており、周辺に及ぼす影響が年々大きくなってきている。それを伐採や剪定する等の処理を行うことについても賛否両論であるので苦慮している。 ・高木化に合わせて樹木の老化も進んできているため、更新が必要になってきている。 ・取り組みとして定期的にパトロールを行う中で高木の状態に問題がないかチェックを行った。

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定のみでの管理だけではなく、街路樹の更新を計画していく。
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 <ul style="list-style-type: none"> ・更新を行うための予算の確保（街路樹の抜根を含むため、歩道改良等の措置が必要） ・更新を行う樹木の周辺住民への説明

(3)改革・改善案による期待成果	
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。	
成果	成果を向上させる。
経費	仕事の経費を増加させる。